

## 学修状況調査（2022年度）分析結果

学修支援センター  
2023年7月14日

本資料は、2022年12月20日から2023年1月20日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で2013年度前期から、悉皆形式で2017年度前期から年2回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019年度からは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査している。

今回の調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いて全学生を対象として実施した。また、これまでと同様、学修支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。回答数のばらつきはあるが、薬学部を除く学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は14.2%と、前回の17.0%より2.8ポイント低い結果となった(前回は23.6%)。コロナ拡大前の2019年度からは回答率の減少が続いているが、前年度とは同程度といえる。回答率を上げるには教職員向けに調査の趣旨などを周知し、多面的なチャンネルから学生への回答依頼を行うなどの手段が考えられる。回答しているのは比較的真面目な学生であると思われ、全体からの無作為抽出とはいえないので、以降の分析結果はそのことを考慮して評価する必要がある。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	7名	10名	8名	1名	26名
2年生	13名	12名	3名	0名	28名
3年生	13名	9名	8名	6名	36名
4年生	24名	21名	3名	13名	61名
5年生				6名	6名
6年生				8名	8名
学部計	57名	52名	22名	34名	165名

今回の調査項目（学修状況部分）は、学修時間と授業や課題の難易度に関する質問とした。なお、「学修状況・満足度調査」の満足度に関する部分については「満足度調査（2022年度）分析結果」にまとめている。

学修時間に関する質問では、授業時間外学修の状況を中心に、一週間あたりの時間の使い方を尋ねた。今年度は昨年度までの質問項目を見直し、昨年度まであった『典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間』を削除した。質問項目は以下の通りで、いずれも選択肢は「10時間以上」「7～10時間未満」「5～7時間未満」「3～5時間未満」「1～3時間未満」「1時間未満」「全くない」の7つである。

1. 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間
2. 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間
3. 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間
4. 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」時間
5. 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間
6. 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果を述べる。

授業に出席している時間（図1）は、全学的にほぼ半数が「週10時間以上」と回答した。学部別の割合は薬学部が64.7%と最も多く、社会学部が38.5%と少ない。また、ゼロや「週1時間未満」の回答も多く見られるが、この回答は4年次以降の学生に多いことから、「卒業研究」、「卒業論文」、及び学外での実習を、「授業」とは別に捉えている可能性がある。

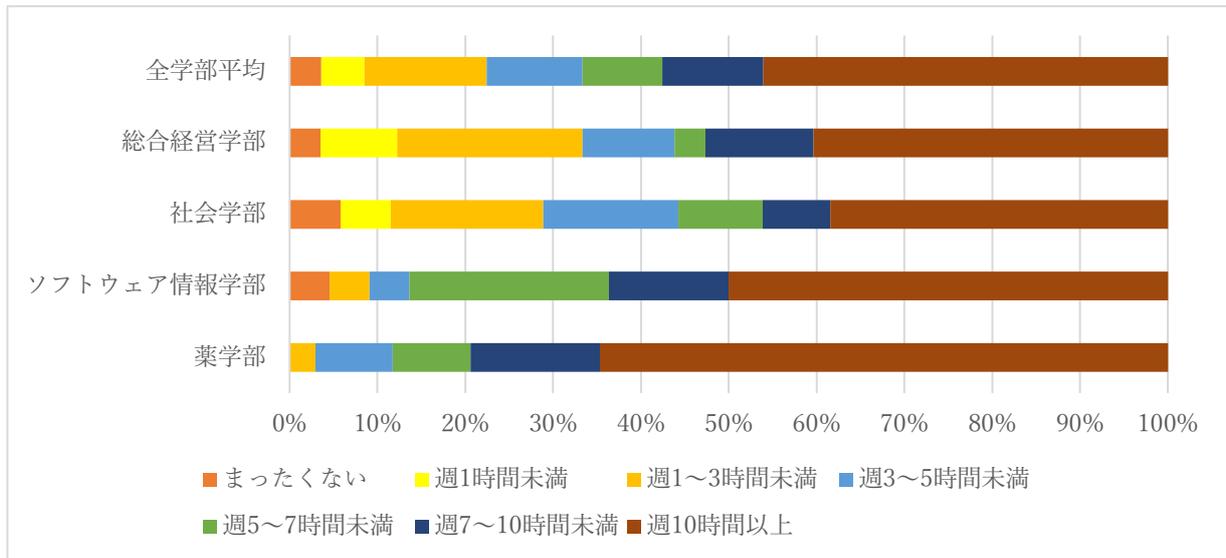


図1 質問 1-1. 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間の回答分布

授業の予習にかかる時間は、図2のような状況であった（配色は図1と同じ。以下の図も同様）。ソフトウェア情報学部は週に10時間以上予習を行っている学生が9.1%と多く、薬学部は昨年度の8.2%から2.9%と大きく減少している。

全体的な予習を実施している者の割合は73.5%と、昨年度の79.5%から6ポイント減少したが、社会学部では9.4ポイント増加した。

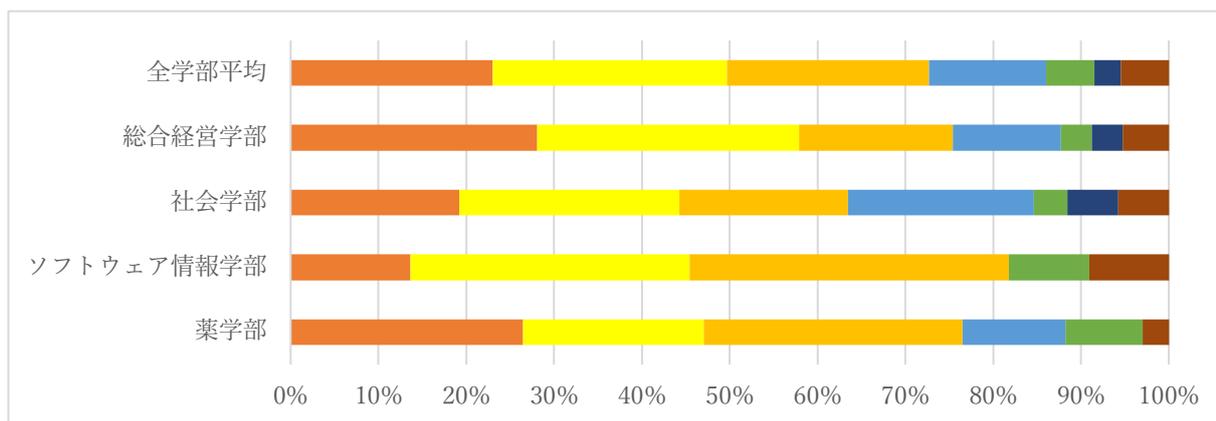


図2 質問 1-2. 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間の回答分布

部活動・サークル活動にかかる時間は図3のようになった。総合経営学部がもっとも多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部、薬学部の順となった。このうち週に5時間以上かけている割合は、全学部では9.1% (0.7ポイント減)、総合経営学部：15.8% (2.2ポイント減)、社会学部：7.7% (2.1ポイント減)、ソフトウェア情報学部：4.5% (4.4ポイント減)、薬学部：2.9% (0.9ポイント増)であった(カッコ内は前回との比較)。コロナウイルス感染症予防のために部活動が制限された状態が続いたため、昨年度から大きな変化は見られない。

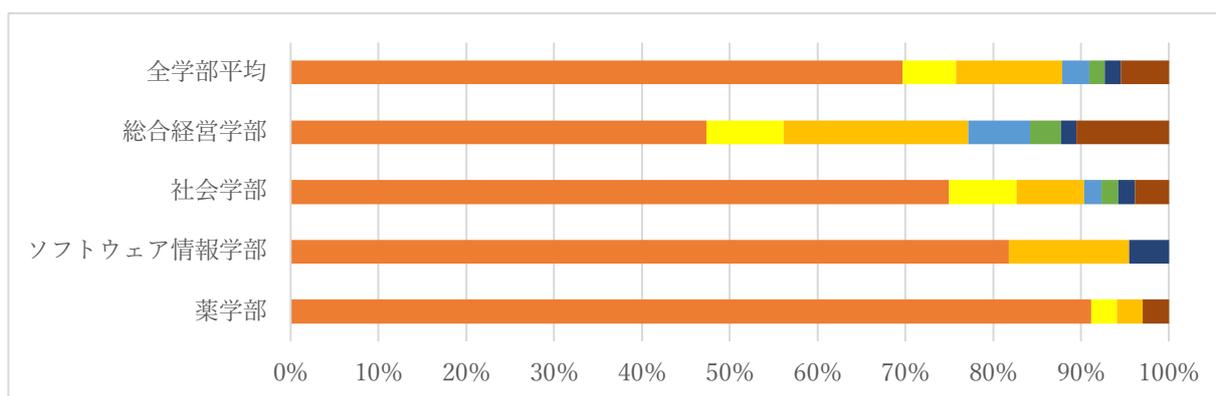


図3 質問 1-3. 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間の回答分布

資格取得のためなどの自主的な勉強時間は図4のようになった。全体では、「実施している」割合が社会学部・ソフトウェア情報学部で多く、総合経営学部・薬学部では少ないが、後者では3時間以上の時間をかけている学生が前者よりも多い。

これまでの調査と比較すると、全学の「実施している」割合は69.1%で、昨年度から4.7ポイント増加した。なお、過去5回の調査ではいずれも6割前後であった。また、薬学部の「実施している」割合は64.7%で、昨年度から28ポイント増加した。これは「資格取得」が国家試験を含むことの周知に伴うものと考えられる。

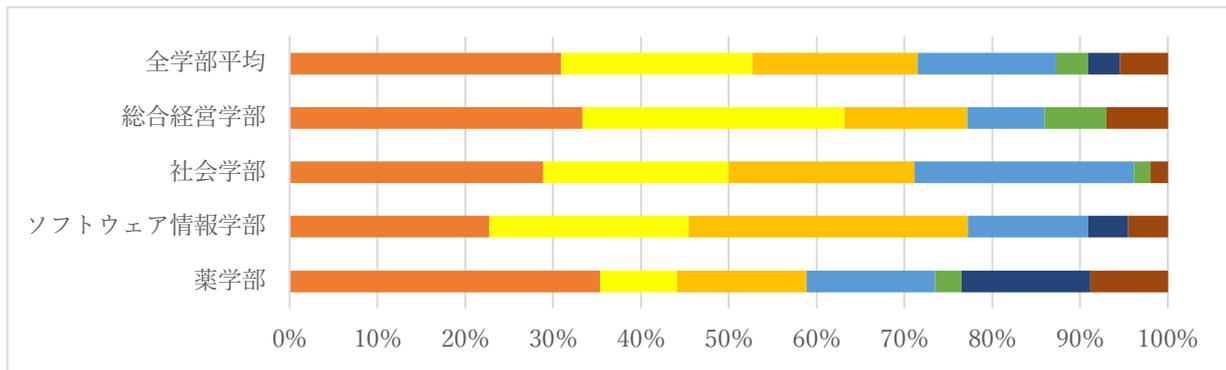


図4 質問 1-4. 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」の回答分布

就職・進学などに関わる活動にかかる時間は図5のようになった。全体では55.2%（12.8ポイント増）の学生が「実施している」と回答し、学部別では最も割合が大きいソフトウェア情報学部が63.6%（10.3ポイント増）、最も少ない薬学部が47.1%（32.8ポイント増）であった。学年別では3年次が72.2%と多く、次いで4年次、1年次、2年次の順となった。

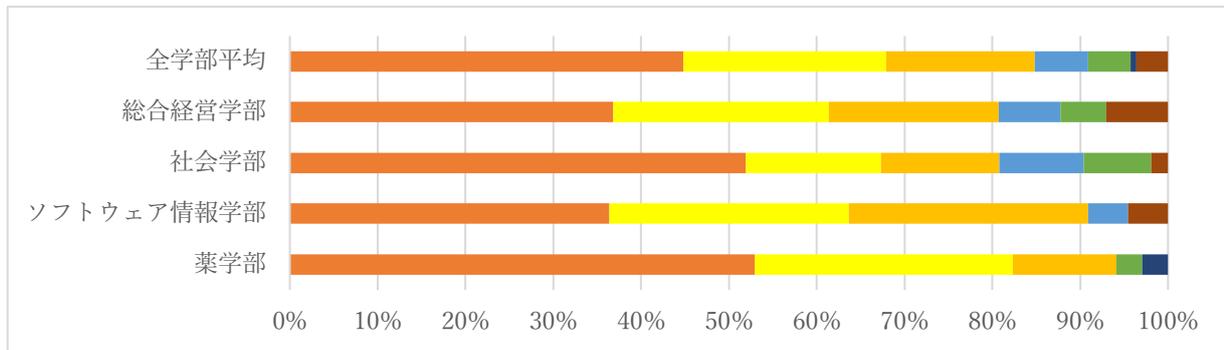


図5 質問 1-5. 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

大学外でのアルバイトや仕事にかかる時間は図6のようになった。大学全体では前回までと同様に半数程度の学生が「実施している」と回答した。このうち週5時間以上行っている割合は、総合経営学部：42.1%（5.9ポイント減）、社会学部：26.9%（19ポイント減）、ソフトウェア情報学部：45.5%（7.7ポイント増）、薬学部：5.9%（12.5ポイント減）であった（カッコ内は前回との比較）。

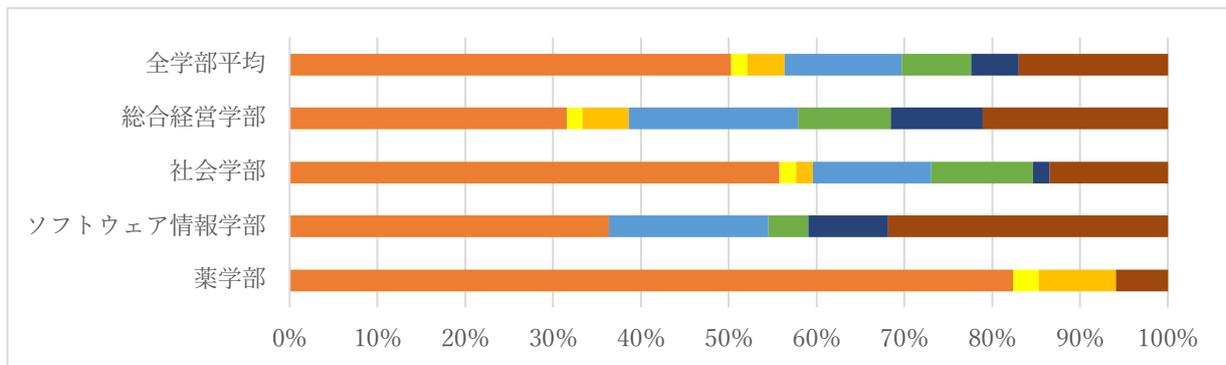


図6 質問 1-6. 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

次に、授業や課題についての難易度をどう感じるかについて尋ねた。これは今年度新設した質問で、項目は以下の通りである。いずれも選択肢は「よく難しいと感じる」「時々難しいと感じる」「たまに難しいと感じる」「あまり難しいと感じない」「感じない」とした。

1. 講義内容の難易度
2. 演習・実習の難易度
3. 宿題やレポートなど課題の難易度
4. 総合的な難易度

以降、それぞれの質問に対しての分析結果を述べる（いずれも薬学部 5, 6 年生は少数であるため学年別の分析からは除く）。

講義内容については「よく難しいと感じる」「時々難しいと感じる」と回答した学生は全体で 29.7%、学部別では薬学部が 44.1%と最も多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部、総合経営学部の順となった。学年別では 2 年生が 46.4%と最も多く、次いで 1 年生、3 年生、4 年生の順となった。

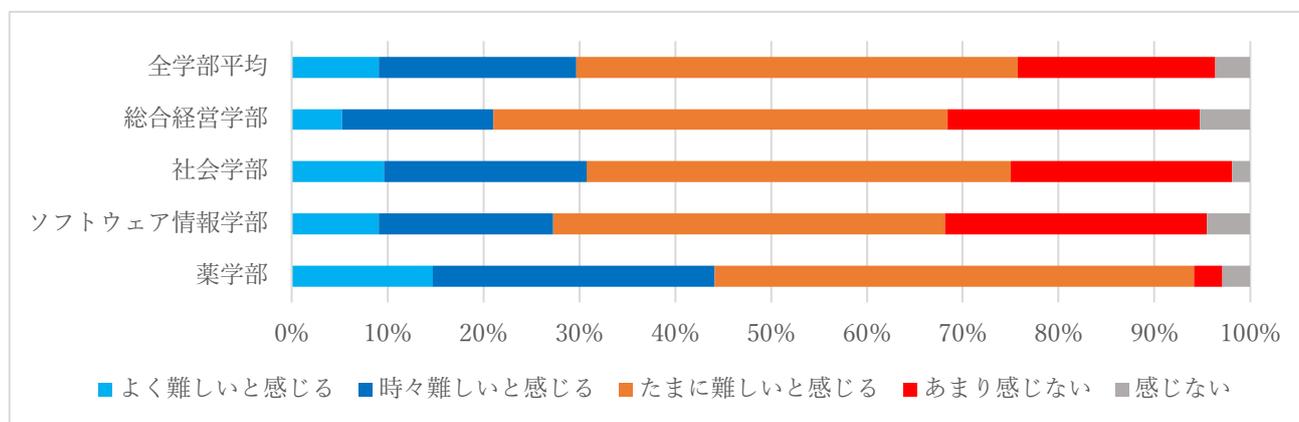


図7 質問 2-1. 講義内容の難易度

演習・実習については「よく難しいと感じる」「時々難しいと感じる」と回答した学生は全体で 25.5%、学部別では薬学部、社会学部、ソフトウェア情報学部が 29.4%, 28.8%, 27.3%とほぼ同率で、総合経営学部が 19.3%と低い傾向にあった。学年別では 2 年生が 42.9%と最も多く、次いで 3 年生、4 年生、1 年生の順となった。

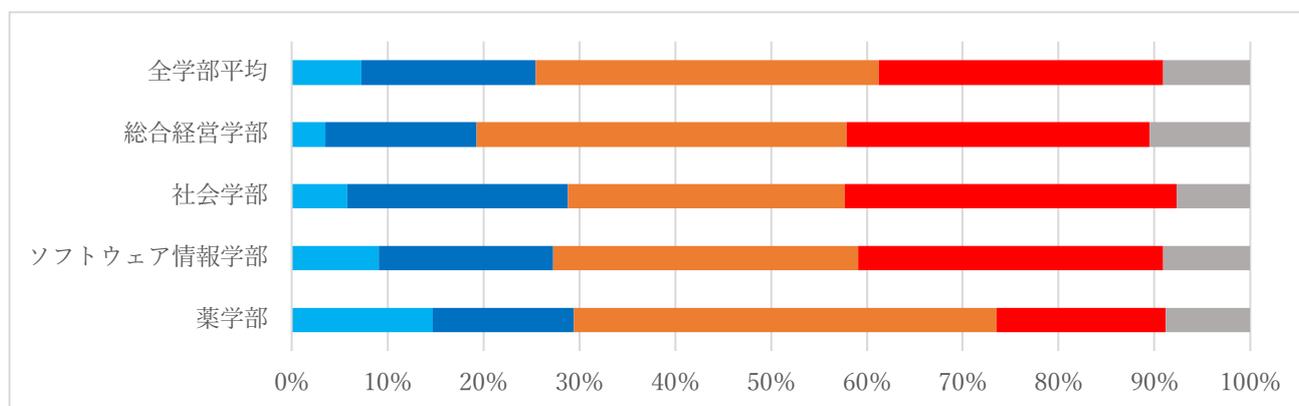


図8 質問 2-2. 演習・実習の難易度

宿題やレポートなどの課題については「よく難しいと感じる」「時々難しいと感じる」と回答した学生は全体で 24.2%、学部別では社会学部が 28.8%と多く、薬学部、ソフトウェア情報学部、総合経営学部が 23.5%, 22.7%, 21.1%とほぼ同じ値であった。学年別では 2 年生、1 年生が 35.7%, 34.6%と多く、次いで 3 年生、4 年生が 27.8, 16.7%と低い値となった。

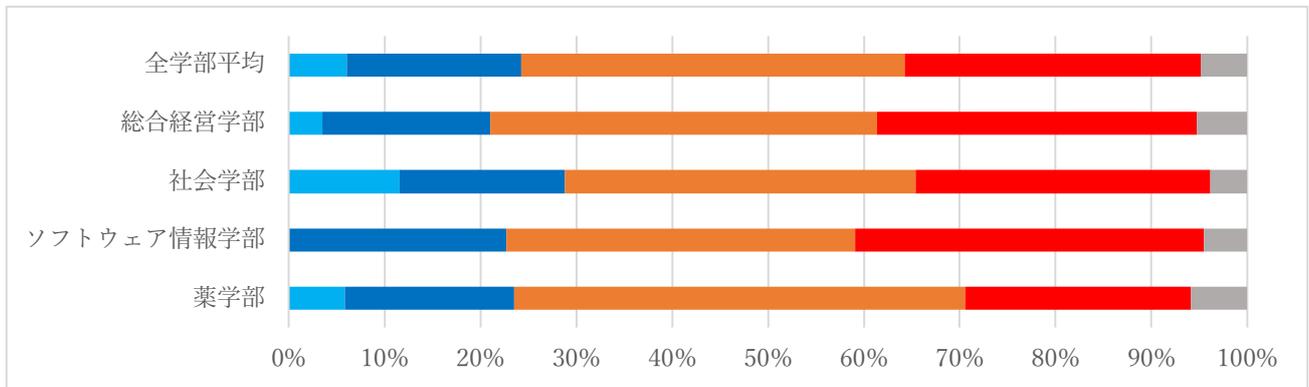


図 9 質問 2-3. 宿題やレポートなど課題の難易度

全体的な難易度では「よく難しいと感じる」「時々難しいと感じる」と回答した学生は全体で 23.0%、学部別では薬学部が 35.3%と多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部、総合経営学部の順となった。学年別では 2 年生が 32.1%と多く、次いで 3 年生、1 年生、4 年生の順となった。

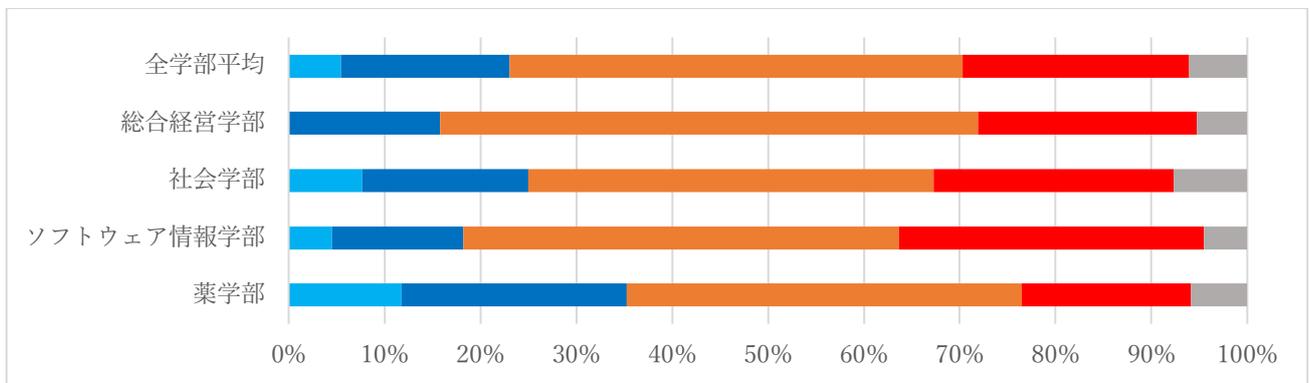


図 10 質問 2-4. 総合的な難易度